

測量計算・電子野帳 (TS)

A-SurveyAd

Android

エース プロジェクト

2024/04

Ver4.6.0 で追加、修正された機能を説明します。

- ・ PC 版で保存した DXF ファイルを表示する、文字データを追加
- ・ 「SIMA 読込」の修正

1、PC 版で保存した DXF ファイルを表示する、文字データを追加

4.5.0 にて、PC 版で読み込んだ DXF データを Android 版で表示が可能になりました。

DXF データは、PC 版も Android 版も背景として使用するのが目的でしたので線データのみ読み込んで、表示していました。

要望により、今回は DXF の文字データも表示可能としました。

PC 版で、DXF を配置時に
文字データを読み込むかどうかのチェックボタンが追加されています。

PC 版を、Ver2.67.3 に更新してください。

PC 版の操作は、DXF ファイルを読み込んで、「保存(F12)」ボタンを押すだけです。
通常とおり現場フォルダを、Android 版の DATA フォルダにコピーしてください。

PC 版で Android 版用に、現場フォルダ内に下記のファイルを作成していましたが
And_dxf_kanri.ace

And_dxf_dat.ace

今回から、

And_dxf-1.adx

1 個のファイルになっています。

既存現場の場合は、このファイルを、Android 側の現場フォルダにコピーです。

PC 版、2.67.3、Android 版 4.6.0 での組み合わせです。

Android 版を、4.6.0 にした場合、以前の 2 つのファイルでは、表示されませんので
注意してください。

DXF ファイルは、大容量のデータは、想定していません。

大きなデータの場合は、画像で対応してください。

又は、予め必要な範囲のみの、DXF ファイルにしてから PC 版で読み込んでください。

文字列の文字数の制限があります。

1 文字列は、20 文字までとなります。

これは PC 版の方で、固定長になっている為です。

ご了承ください。

PC 版の変更点は、

表示条件

点名サイズ: 12

表示倍率: 1.6

☒ グリッドを表示する


☒ 画地を表示する

☒ 線データを表示する
☐ 線データを画地より上に表示

☒ 路線データを表示する

☒ 地図を表示する

☒ ラインコントロールを表示する

☒ DXFを背景表示する 

☐ 元配色表示にする

☒ 文字を表示にする

座標点検索: 10 ドット

☒ 距離文字を表示する サイズ

☒ 辺長文字を表示する 5

☐ マーカーを表示する

マーカースize 32 ドット

OK

← DXF の文字データを表示する場合は、チェック

□文字読込

のチェックボタンが追加されています。
初期は、チェックが付いていますので、文字データが不要の場合は
チェックを外してください。

DXF

ファイル:

参照

読込

☒ 新規

☐ 追加

単位

☒ m

☐ mm

読み込み後のデータ

☒ DXF背景

☐ ラインデータ

DXF背景の場合

☒ 文字読込

ラインデータ POINT

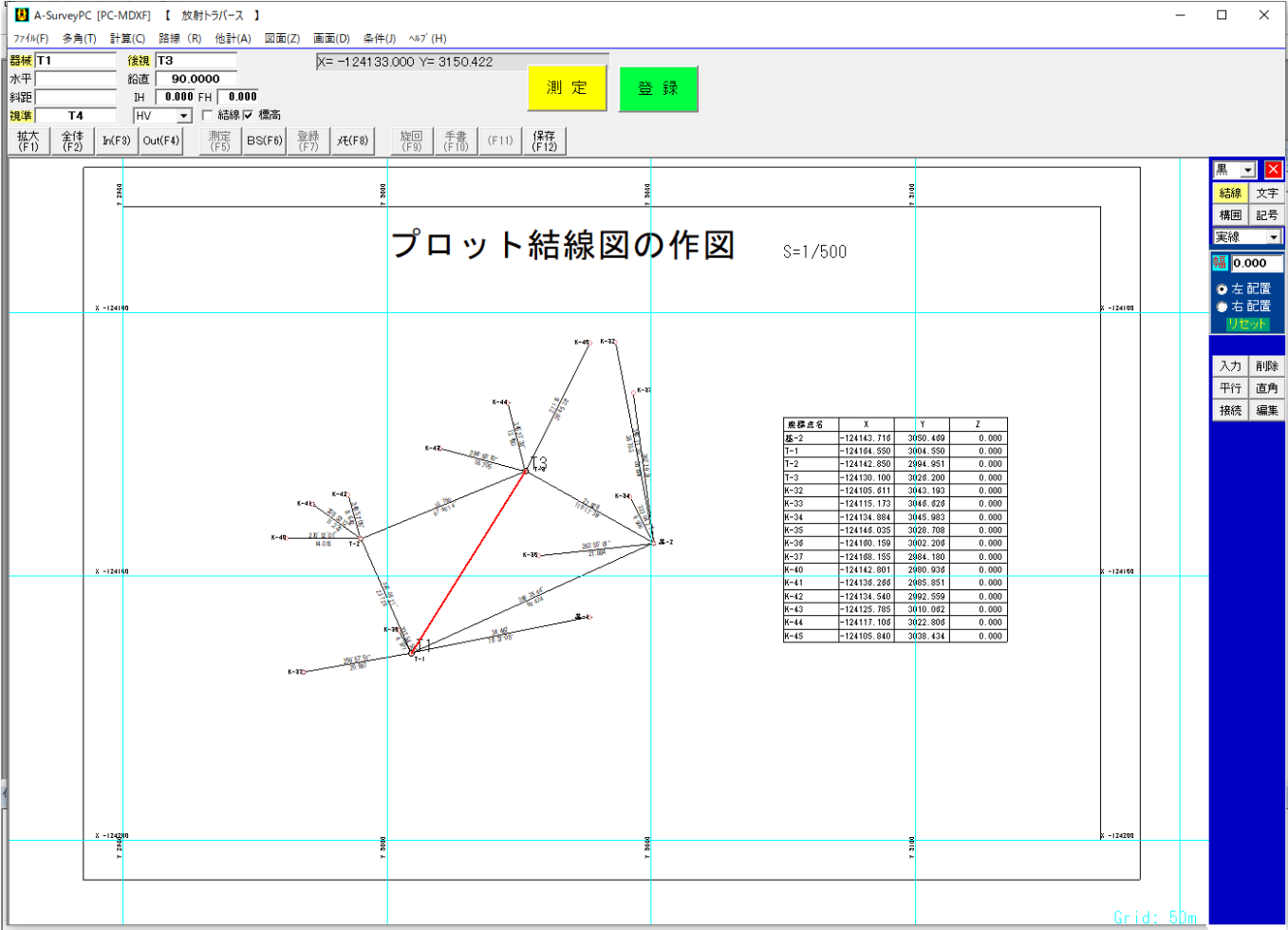
☐ Pointデータを測点として登録する。

ライン消去

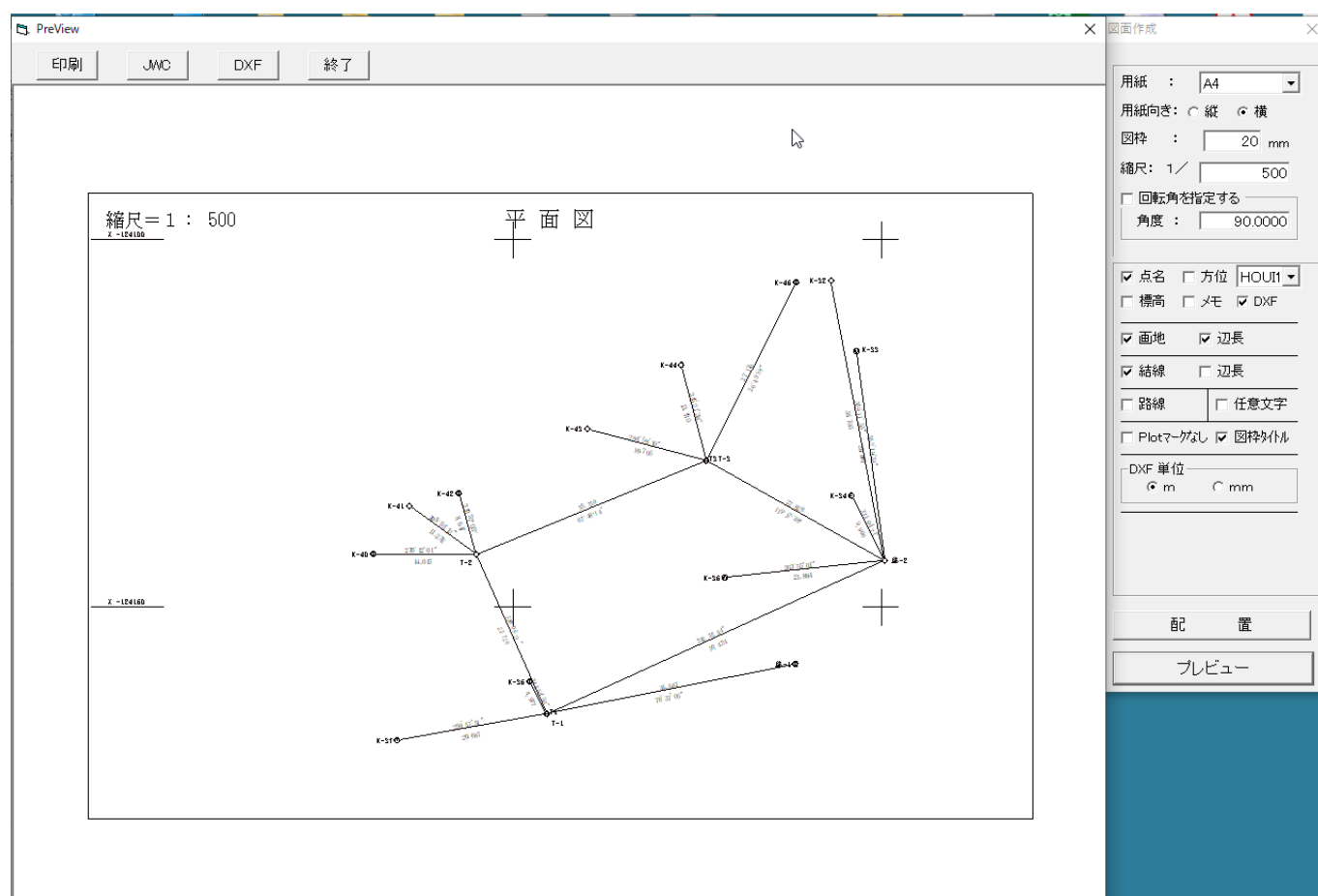
DXF消去

OK

画面に文字データも表示されます。



PC 版の「図面作成」で、□DXF にチェックを付けると
線データと今回の文字データも配置出来ます。



Android 版にも、条件が追加されています。

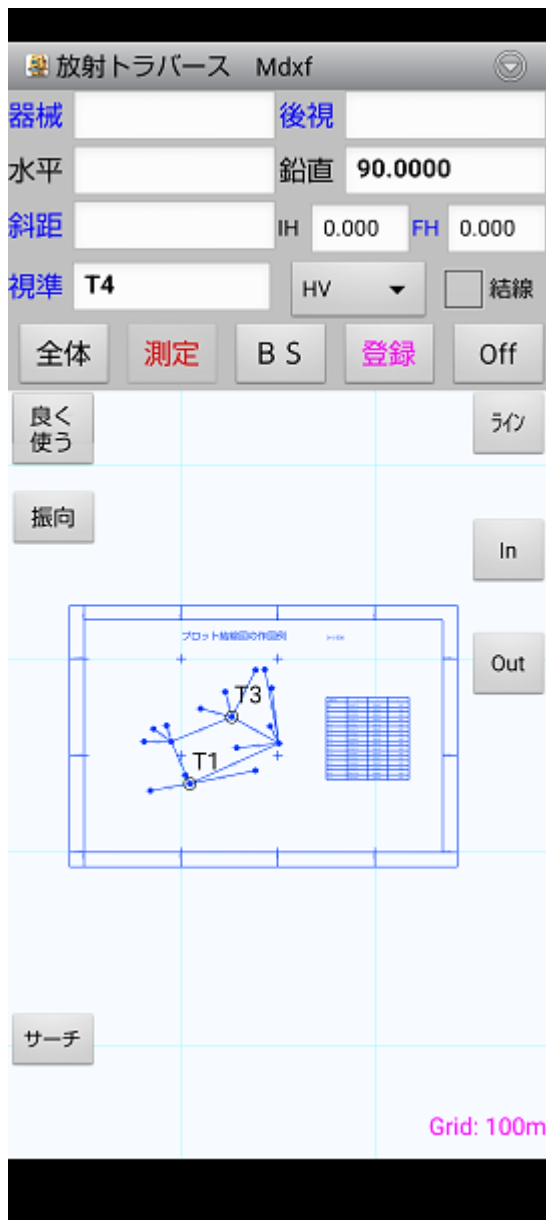
A-SurveyAdB 表示条件

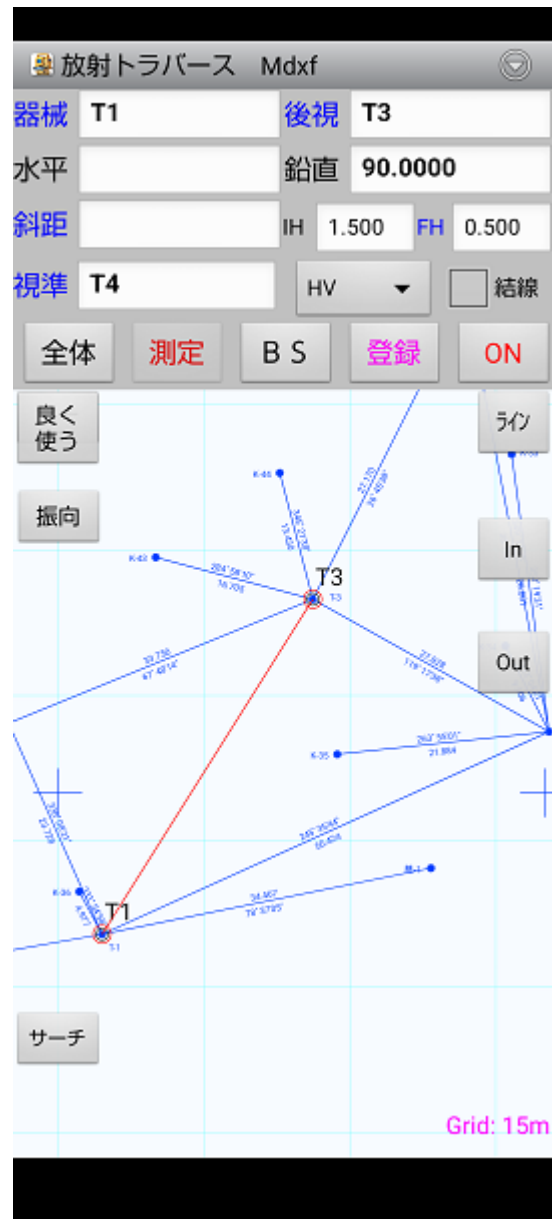
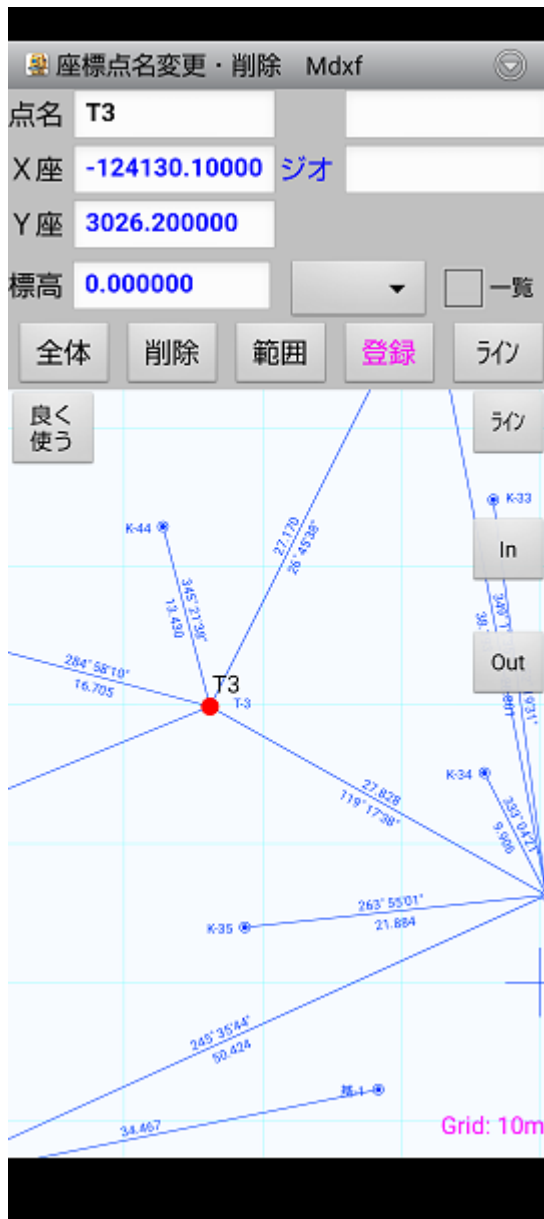
○ K

- ☒ 画地を表示する
- ☒ グリッドを表示する
- ☒ 線データを表示する
- ☒ タイトルを表示する
(再起動が必要です。)
- ☒ メニューをアクションバーにする
(再起動が必要です。)
- ☒ 背景画像 1 を表示 ☒ 2 を表示
- 透明度 0-255
- ☒ 距離文字を表示する
- ☒ マーカーを表示する
マーカーサイズ
- ☒ 路線 拡幅線を表示する
- ☒ 境界辺長を表示する
辺長サイズ
- ☒ 計測時にTINを表示する
- ☒ PC-DXFデータを表示する
 - ☒ DXF 文字を表示する

←—DXF の文字データを表示する場合は、チェック

- 現場を読み込む場合に、データが大きいと時間が掛かります。
現場データの保存は、このデータは読み込み専用なので変化ありません。
- プロット画面の表示が、遅くなります。
なるべく、小さなデータにしてください。
拡大画面の方が、表示は速くなります。
使用されている、Android 機にも依存しますので、試してみてください。
- DXF の点データも今回表示しています。
- A-Survey は、CAD ソフトではありませんので、実座標で表示しています。
実座標上に、文字の位置や文字サイズを表示するのは表現が難しいので
表示の違いは、ご了承ください。





- 背景として DXF データの表示なので
この表示データの編集は出来ません。

2、「SIMA 読込」の修正

現場内に、SIMA の点名と同じ削除された同一点名が有った場合に
これが先に見つかり、削除されているので
新規と判断されて追加になっていました。

1 回目は追加で OK ですが、2 回目の読み込みから
追加され、同一点名の座標となっていました。

同一点名の座標は、上書きされます。
後で、読み込んだ座標が残ります。